

横 手 市 議 会 定 例 会

市 長 所 信 説 明

令和6年9月

(令和6年8月16日 告示)

横 手 市

第2次横手市総合計画

みんなの力で 未来を拓く 人と地域が^{ひら} ^{かがや} 燦くまち よこて

後期基本計画 政策・施策

政策1

【健康福祉】

伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます

【施策 1-1】子育て支援の充実

【施策 1-2】健康な心と体づくりの推進

【施策 1-3】健康でいきいきとした高齢社会の推進

【施策 1-4】障がい者（児）福祉の充実

【施策 1-5】低所得者福祉の充実

【施策 1-6】福祉を支える人材の確保と育成

政策2

【教育文化】

学びの充実とスポーツ・芸術文化の振興により、生きる力と豊かな心を育みます

【施策 2-1】横手を愛する心と生きる力を育む学校教育の充実

【施策 2-2】安全で安心して学べる教育環境の整備

【施策 2-3】元気なまちを築く生涯スポーツの促進

【施策 2-4】心を豊かにする生涯学習の推進

【施策 2-5】よこての伝統文化の継承と再発見

政策3

【生活環境】

豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます

【施策 3-1】安心して暮らすことのできるまちづくりの推進

【施策 3-2】美しい自然環境と快適な生活環境の保全

【施策 3-3】災害に強いまちづくりの推進

【施策 3-4】循環型社会の一層の推進

【施策 3-5】地球温暖化対策の推進

政策4

【産業振興】

魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります

【施策 4-1】魅力ある農林業の振興

【施策 4-2】活気ある商業の振興

【施策 4-3】活力ある工業の振興

【施策 4-4】観光・物産資源の発掘と発信

【施策 4-5】企業誘致の推進、企業留置と雇用対策

政策5

【建設交通】

暮らしを支える都市基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます

【施策 5-1】雪国の快適な暮らしの実現

【施策 5-2】快適な移動空間の実現

【施策 5-3】市民が利用しやすい公共交通の充実

【施策 5-4】地域拠点整備による市街地の活性化

【施策 5-5】安全で安定した水道水の供給と生活排水の適正処理

【施策 5-6】市民がくつろげる公共空間の整備

政策6

【市民協働】

やさしさと笑顔があふれる市民が主役の地域づくりを進めます

【施策 6-1】市民の主体的な活動の支援と地域づくり活動の充実

【施策 6-2】男女が尊重し合う社会づくり

【施策 6-3】情報を共有する環境の整備

【施策 6-4】市内外との交流連携の推進

政策7

【行政経営】

横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます

【施策 7-1】市民ニーズに対応した成果重視の行政運営の推進

【施策 7-2】財源確保と効率的・効果的な財政運営の推進

【施策 7-3】戦略的・計画的な人材育成と能力開発の充実

目 次

1. はじめに	1
2. 新たな施策等への取り組みについて	6
(1) 観光振興施策について.....	6
(2) 那珂市との友好都市提携20周年について	7
3. 令和6年度事業等の進捗状況について.....	7
(1) 普通交付税について.....	7
(2) 第3次横手市総合計画について.....	8
(3) 大型公共施設整備事業について.....	9
(4) 横手駅周辺整備について.....	10
(5) 横手市生涯学習館A o - n a について	11
(6) J R 北上線100周年記念事業の実施について	12
(7) 物価高騰対策について.....	13
(8) 令和6年度における新型コロナワクチン接種について	15
4. 補正予算について	15
5. おわりに.....	16
※行政一般報告編.....	17

令和6年9月横手市議会定例会の開会にあたり、市政運営に関する基本的な考えとして所信を述べさせていただくとともに、当面する市政の重要課題についてご説明申し上げ、市民の皆様並びに議員各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

1. はじめに

これまで、職員の不祥事並びに事務ミスが発生につきまして、ご報告するとともに全職員に対して作業手順に基づく職員同士の相互チェックの徹底や職員としての責任と緊張感を常にもって業務を遂行するよう指導しておりました。しかしながら、先月に再度事務ミスによって市民の皆様にご迷惑とご心配をおかけする事案が発生していることは、誠に遺憾であり、慙愧^{ざんき}にたえません。

事務ミスや職員の不祥事が今年度に入り相次いでいることを受けて、管理監督責任を果たすため、市の最高責任者である私自身及び副市長、教育長並びに横手市病院事業管理者の給与を減額したいと考えております。

今年も活発化した梅雨前線の影響や線状降水帯の発生により、各地で大雨による被害が発生しており、お亡くなりになられた方のご冥福を衷心よりお祈りするとともに、被害に遭われた方々へ心よりお見舞い申し上げます。

また、7月8日から11日にかけて梅雨前線及び発達した低気圧の影響により、県内の広い範囲で大雨となり、当市においては9日からの降り始めの雨量が100mmを超え土砂災害の危険が高まったことから、10日に市内8カ所に自主避難所を開設し、6世帯8名の方が避難をされました。

さらに、7月24日から25日にかけての梅雨前線と温かく湿った空気の影響による大雨では、秋田県や山形県に甚大な被害をもたらしました。

当市の災害対応状況といたしましては、2日間の総雨量が185mmと平年の7月ひと月分の降水量に匹敵する大雨となったことを受け、7月24日に設置していた大雨災害連絡部を7月25日午前3時45分に大雨災害対策部に改め、午前9時10分には大雨災害対策本部に改組し災害対応にあたっていました。

また、7月25日午前3時45分には、大戸川の氾濫の危険性が高まったことから、横手地域の黒川地区全域392世帯、1,068人に対して、令和3年5月の避難情報に関するガイドラインの改定後、当市では初となるレベル4の避難指示を発令いたしました。

さらに、7月25日正午には、雄物川も氾濫の危険性が高まり、雄物川地域の沼館地区、里見地区、福地地区、館合地区、大森地域の大森地区、川西地区、大雄地域の阿気地区、合計4,415世帯、

11, 383人に追加で避難指示を発令いたしました。

避難所の状況につきましては、7月24日午後6時25分に当市に土砂災害警戒情報が発表されたことを踏まえ、横手中央地区交流センターなど7カ所に自主避難所を開設し、その後の雨の状況により、最終的に14カ所の避難所を開設いたしました。避難者数は7月25日午後4時30分時点で202世帯、426名が避難されておりましたが、その後、河川の水位が減少傾向となったことから避難指示につきましては、7月26日午後4時45分をもって全て解除いたしました。近年の災害にない避難者数でありましたが、「シームレス避難所システム」の運用もふくめ日頃の訓練の成果がこの度の災害対応に活かされたものと存じます。

当市の被害状況を申し上げますと、幸いにも横手市内における人的被害はございませんでしたが、家屋被害といたしましては床上浸水が3棟、床下浸水が46棟確認されております。今後も、被災された皆様の生活再建に向け、市といたしましても全力でサポートしてまいります。

インフラ施設の被害といたしましては、道路の冠水が11カ所、土砂崩れが5カ所で発生し、通行止めも多数発生したほか、公共交通機関の運休など市民の皆様の生活に多大な影響を及ぼしました。

農作物に関しましては、水田や転作田等の複数の圃場で冠水被害

が発生し、出荷の最盛期を迎えていた「あきた夏丸」などのスイカや収穫を間近に控えた枝豆が泥水に浸かってしまい、出荷量の減少は避けられない状況となっております。そのほかにも、菌床しいたけハウスの浸水被害や水田への土砂流入、水路の損壊など農業施設への被害も確認しております。

これらの大雨災害に迅速に対応するため、被災農家等への復旧支援に係る経費のほか、被災した農地や道路、河川等の応急復旧費用につきまして、8月5日付けで一般会計補正予算の専決処分を行いました。内容といたしましては、被災農家が使用した病虫害防除薬剤等の購入費の助成や、被災した農地等の復旧費用の助成のほか、道路や河川、林道における応急工事の工事請負費等であり、その総額は1億9,570万円となっております。

早期の全面復旧に向け関係機関と連携し取り組んでまいります。

これまで、被災自治体へ積極的に支援を行ってきた本市職員の経験を災害時に活かすとともに、今後も災害への備えに努め、市民の皆様への安全・安心の確保に注力してまいります。

この度の災害対応につきまして、ご尽力いただいた地元町内会や消防団、民間事業者や地区交流センター運営協議会など多くの皆様に対しまして、この場をお借りし厚く御礼申し上げます。また、自衛隊及び東北地方整備局湯沢河川国道事務所、横手警察署、秋田県

平鹿地域振興局などの関係者の皆様にはリエゾンとしてご協力いただき感謝申し上げます。

さて、6月から7月にかけて市内10会場で開催いたしました令和6年度市政懇談会につきましては、約400人の皆様にご参加いただき、市政に関して様々なご意見を伺うことができました。お忙しいなかご参加いただいた皆様に感謝を申し上げます。市政懇談会では「50年後100年後の横手市に向け」をテーマとして、人生100年時代のなかで、参加された皆様から50年先、100年先の横手市がどのような街であってもらいたいのか様々な意見交換をさせていただきました。子育て中の方からは、昨年度より実施しております横手市産後ファミリー応援事業について「非常に助かる事業であり、市民の皆様にもっと広く周知してもらいたい」と評価をいただいた一方、市の引きこもり対策へのご意見も頂戴し、担当部局におきましては、早速、施策の検討に入ったところであります。

市民の皆様から頂戴した貴重なご意見を取り入れながら、目の前に山積する課題を一つ一つ解決するのはもちろんのこと、この地域が50年後100年後の未来に向かって持続的に発展するための土台を作る取り組みも行ってまいります。

2. 新たな施策等への取り組みについて

(1) 観光振興施策について

7月18日に運行を開始した秋田空港と当市を結ぶ送迎サービス、「よこて^{わーぶ}WARP」ではありますが、全国の自治体でも例の無い取り組みであり、私自身、他自治体の首長から問い合わせを受けるなど、各方面から期待を込めた大きな反響をいただきました。事業開始から4週間経過の8月14日時点で、運行日数28日中、稼働日数28日、運行可能便数112便中、稼働68便、利用者数はのべ192人の実績となっております。

今後、よこてWARPの認知度が向上することにより、稼働率がさらに上昇することが予測され、空路を利用して横手を訪れる方が増えることを期待しております。

また、この冬、12月から令和7年2月にかけて、JR東日本の重点販売地域に秋田県が単独では6年ぶりに指定されました。冬季に秋田県単独で実施するのは初めてであり、期間中は、秋田・横手間の特別列車運行の企画も進んでいると伺っております。県では、これに合わせるかたちで観光誘客の取り組みに力を入れる方針を打ち出しており、市といたしましてもこの機会を逃さずに、課題としている冬季の観光誘客につなげてまいりたいと考えております。

(2)那珂市との友好都市提携20周年について

茨城県那珂市とは、約350年前、現在の那珂市にあたる常陸国那珂郡戸村出身の戸村氏の子孫が横手城代となり、秋田藩の廃藩まで代々の戸村家当主が横手城代を継承してきたというつながりがあります。

このような歴史的経緯から、旧横手市が平成16年10月22日に友好都市提携を結び、これまでスポーツ少年団の交流のほか、「よこての全国線香花火大会」や「なかひまわりフェスティバル」などのイベントを通じて相互の交流を深めてまいりました。

本年、提携20周年を迎えることから、10月12日に那珂市を会場に記念式典を開催することとしております。那珂市の皆様とともにこれまでの友好の歴史を振り返りながら、次の10年に結びつくよう、さらに交流を深めてまいります。

3. 令和6年度事業等の進捗状況について

(1)普通交付税について

この度、令和6年度の普通交付税が決定され、臨時財政対策債を加えた実質的な交付税額は188億7,798万円となり、昨年度並みの交付額を確保できることとなりました。昨年度の最終的な交付決定額と比較し、額にして2,071万円、率にして0.1パー

セントの増となっております。

このうち、普通交付税につきましては、１８８億４３３万円であり、昨年度と比較し１億２６５万円、率にして０．５パーセントの増となっております。

今後も、行政サービスを安定的に提供するため、様々な行政課題に的確に対応し、将来にわたり持続可能な行財政運営に努めてまいります。

(2)第3次横手市総合計画について

令和８年度からの１０年間を計画期間とする市の最上位計画、第３次横手市総合計画につきましては、今年度から本格的な策定作業を開始し、現在は、まちづくりの基本的な指針となる基本構想の策定に取り組んでいるところであります。

市民の方や関係団体、市の課長級職員からなる策定委員会にて基本構想を形成する将来像や重点目標、基本目標の原案を検討し、市民代表や学識経験者等で構成される総合計画審議会にて基本構想の審議を行う予定としております。

なお、総合計画に市民の皆様の意見を取り入れることを目的に、８月２日に高校生ワークショップを開催いたしました。ワークショップでは、市の魅力や課題のほか、１０年後の横手のありたい

姿、ありたい姿のためにできることなどについて意見交換を行いました。9月7日には市民の方を対象としたワークショップを行う予定としておりますので、皆様のご参加をお待ちしております。

そのほかにも、総合計画の冊子で使用する写真を市民の皆様から広く募集するフォトコンテストも実施しておりますので、皆様が伝えたい魅力あふれるよこての写真のご応募をお待ちしております。

また、同様に冊子の挿絵として活用するため小中学生を対象として「わたしが思い描く10年後のよこて」をテーマに絵画の募集を行っているほか、将来像の検討に活用するため中学生を対象として「10年後もずっと住み続けたいと思うまちよこて」をテーマに川柳の募集を行っております。

総合計画の策定にあたっては、市民の皆様のご意見を幅広くお聞きし、すべての年代の方々が豊かに過ごすことのできる横手市の実現に向けた総合計画となるよう、取り組みを進めてまいります。

(3)大型公共施設整備事業について

横手体育館の整備につきましては、地盤を補強する杭の打設工事が終了し現在基礎工事を行っているところであり、概ね順調に進んでおります。

横手市民会館の整備につきましては、現在実施設計の見直しを

行っているところでありますが、構造など大きな変更はせず、物価上昇や労務単価等を十分に精査しつつ、着実に進めてまいります。

現在、策定を進めております中心市街地活性化基本計画につきましては、６月１８日に横手市中心市街地活性化協議会が設置され、計画内容の検討を行っていただいております。

今後、内閣府の現地調査やパブリックコメントによる市民の皆様からの意見聴取を予定しておりますが、引き続き国など関係機関や関係者との調整を図りながら、来年１月の認定申請に向けた作業を進めてまいります。

(4)横手駅周辺整備について

横手駅東口第二地区市街地再開発事業につきましては、去る７月３１日に、再開発組合から横手市生涯学習館^{あ お ー な}A o - n a となるＡ棟の引き渡しを受けております。また、民間複合施設となるＢ－１棟は、８月３０日に地権者へ引き渡しを行うこととなっております。

この後、横手市生涯学習館A o - n a が９月１４日に開館し、民間複合施設については、９月１７日にＪＡ秋田ふるさとなどがオープンする予定と伺っております。

今後、再開発組合では、１０月上旬から「よこてシャイニーパレス」や「横手ステーションホテル」の解体工事に着手するとともに、

来年春から立体駐車場・賃貸住宅・分譲住宅の新築工事に順次着手する予定とのことであります。

なお、市街地再開発事業とあわせて進めております都市再生整備事業につきましては、引き続き周辺の整備を進めてまいります。

(5)横手市生涯学習館^{あおーな}Aoーnaについて

横手市生涯学習館^{あおーな}Aoーnaが開館する9月14日は、オープニングセレモニーの際に^{あおーな}Aoーna広場前に設置したモニュメントの除幕を行い、市内の高校吹奏楽部の演奏により市民の皆様をお出迎えいたします。また、^{あおーな}Aoーnaの設計に携わっていただいた方や市民の方、市内の高校生とパネルディスカッションを行い、^{あおーな}Aoーnaへの思いや交流拠点として何ができるかなどについてお話を伺うほか、9月23日までオープニング記念イベントとして、市民大学講座やミニシアター、施設内見学ツアーなどを行う予定としております。

オープン後は、生涯学習と図書館を融合させた機能を最大限に活かし、市民の皆様の学びを多面的にサポートできるよう様々な企画や展示などを行い、多くの方々に来館いただけるよう努めてまいります。

(6)JR北上線100周年記念事業の実施について

本年11月15日にJR北上線が全線開通100年を迎えることから、当市を含めた沿線自治体や関係機関で構成するJR北上線利用促進協議会におきまして、100周年を記念する様々な事業を実施しております。

今年度、利用促進協議会では、北上線のポータルサイトを立ち上げ、沿線地域の四季折々の動画や駅周辺施設の魅力を発信することによる利用促進を行っているほか、8月上旬から横手駅、ほっとゆだ駅、北上駅へ100周年の啓発看板を設置いたしました。

さらに、今年度は沿線地域の小学生を対象とした北上線乗車体験事業を展開しております。当市におきましては、夏休み子ども教室の児童を対象に北上線の乗車と株式会社湯田牛乳公社に隣接した施設での飲食を組み合わせた体験事業を実施し、90名以上の児童が北上線の乗車を楽しみました。

そのほか、JR東日本の新幹線座席等に搭載される月刊誌トランヴェールの9月号に北上線や沿線地域の魅力を紹介した記事を掲載する予定としており、新幹線を利用する約600万人の方々に、次の旅行先として当市も含めた北上線の沿線地域を選んでいただけることを期待しております。

また、沿線住民があらためて北上線の重要性や利用価値について

考える機会として、横手駅東口まっりの開催期間中である10月6日に、当市において北上線100周年を記念するシンポジウムを開催いたします。そのほかに北上線沿線地域のガイドマップの更新や北上線利用者へ記念グッズの配布も予定しており、11月15日の全線開通100年の節目の日に向けて北上線の利用促進に係る機運醸成を図ってまいります。

北上線は、通勤・通学や通院、買い物など、住民生活に欠くことのできない地域交通であるとともに、災害時の代替性や観光など地域経済を支える基盤であり、秋田県と岩手県を結ぶ重要な路線であります。他の地方ローカル線と同様に近年利用者数の減少が度々取り上げられております。このようなローカル線の利用促進につきましては、利用者数の観点から列車に乗ることを目的に議論されがちではありますが、目的地を作ることによって列車に乗せるという側面もあると考えております。沿線地域や駅周辺に外から多くの人を呼び込むような魅力あるまちづくりを進めることにより、今後も北上線の利用促進を行ってまいります。

(7)物価高騰対策について

物価高騰対策として実施する定額減税調整給付金給付事業につきましては、令和6年度住民税課税情報をもとに、定額減税しきれな

いに見込まれる約 18,000 人の方を対象に、調整給付金を支給するものであります。

給付金の対象者のうち約 11,000 人の方につきましては、マイナンバーカード作成時に登録した「公金受取口座」へ 9 月中旬に給付金を支給する旨のご案内を発送しております。

そのほかの対象者、約 7,000 人の方につきましては、今月末に振込口座等を記載していただく「確認書」を送付し、返送された書類内容の確認が取れ次第、給付金を支給してまいります。

定額減税調整給付金給付事業と同様に、物価高騰対策として実施する低所得者生活支援事業につきましては、同じく令和 6 年度住民税課税情報をもとに、新たに住民税非課税世帯となった約 550 世帯並びに新たに住民税均等割のみ課税世帯となった約 600 世帯を対象に臨時特別給付金として 10 万円を給付するものであります。また、給付金の対象世帯のうち、18 歳以下の児童を扶養している世帯に対して対象児童 1 人当たり 5 万円を支給することも加算についてもあわせて実施いたします。

対象となる世帯に対しては、すでにご案内を送付しておりますので、内容を確認していただき、手続きをお願いいたします。

なお、これらの物価高騰に対する給付金の手続きの期限については 10 月 31 日としておりますので、対象となる世帯の皆様はお忘

れないようお願い申し上げます。

(8)令和6年度における新型コロナワクチン接種について

新型コロナウイルスのワクチン接種につきましては、昨年度まで特例臨時接種として実施しておりましたが、今年度から新型コロナウイルス感染症が予防接種法のB類疾病に位置付けられたことに伴い、65歳以上の方並びに重い基礎疾患を持つ60歳以上65歳未満の方を対象とする定期接種として実施いたします。

接種費用は国の試算では一人あたり15,300円程度とされており、市民の皆様の自己負担額を軽減するべく当市ではその内10,300円の費用助成を制度化しております。助成期間や接種できる医療機関の情報は、市ホームページや市報よこて10月号及び全戸配布チラシ等でもお知らせいたします。

4. 補正予算について

今議会に提案しております一般会計補正予算についてご説明申し上げます。

今回の補正は、15億5,410万円の増額で、補正後の歳入歳出予算総額は、616億710万円であります。主な事業と事業費を申し上げますと、

◎ 果樹振興事業	4 7 2 万円
◎ 観光誘客推進事業	7 3 2 万円
◎ 道の駅費	2 , 1 9 3 万円
◎ 小中学校 I T 環境管理経費	7 9 9 万円
◎ 学校給食事業	2 0 4 万円

などであります。

5. おわりに

今議会に提案しております案件については、諮問案件 2 件、継続費精算報告書の報告などの報告案件 3 件、承認案件 1 件、令和 5 年度一般会計歳入歳出決算など決算認定 1 0 件、条例案件 4 件、契約関係、財産取得などその他案件 7 件、令和 6 年度一般会計補正予算案など補正議案 3 件の合計 3 0 件であります。

以上、よろしくご審議くださいますようお願い申し上げまして、所信説明といたします。

行政一般報告編

～ 6月議会定例会以降の行事等について ～

令和6年6月議会定例会以降の行政一般報告

目 次

(1) 増田地区交流センターまつり.....	19
(2) 「釣りキチ三平の里」体験学習館アドベンチャーキャンプ.....	19
(3) マンガが結ぶ夏の体験学習「エンジョイ！ マンガロード」.....	19
(4) 増田小学校の農業体験交流学习.....	20
(5) 第43回あやめまつり.....	20
(6) 第51回雄物川駅伝競走大会.....	20
(7) おもフェス2024.....	21
(8) 第26回ははは祭.....	21
(9) 第41回関東地区大森町ふるさと会.....	21
(10) 第39回首都圏十文字会総会.....	22
(11) 大松川ダム公園植栽イベント.....	22
(12) 夏のクリーンアップ(夏季道路一斉清掃).....	23
(13) 2024大雄サマーフェスティバル.....	23
(14) 食農フェスタ2024.....	24
(15) 第21回よこての全国線香花火大会.....	24
(16) 横手の送り盆まつり.....	25
(17) 青山学院大学文学部史学科考古学コース 考古学実習.....	25
(18) 令和6年度横手市二十歳のつどい及び24歳のつどい.....	25
(19) 第17回横手わか杉カップ.....	26
(20) 大学のスポーツ合宿.....	26

令和6年6月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
まちづくり推進部 (増田地域局)	(1)増田地区交流センターまつり 7月7日、増田地区多目的研修センターにて「増田地区交流センターまつり」が開催されました。あいにくの天気ではありましたが、多くの皆様にお越しいただき、親子連れなど約600人の来場がありました。 地区交流センターまつりは、昔の縁日の雰囲気を出して地域の子どもたちに味わってもらうために始めたおまつりです。射的や輪投げ、ヨーヨー釣りやスーパーボールすくいなどの縁日コーナーの他、紙芝居や餅まきなどの催しもあり、多くの子どもたちやそのご家族、また地域住民などに昔のおまつりの雰囲気を感じていただくことができた一日となりました。
まちづくり推進部 (増田地域局)	(2)「釣りキチ三平の里」体験学習館アドベンチャーキャンプ 8月1日、2日に市内の小学4年生から6年生まで計20名が参加し、「アドベンチャーキャンプ」を実施しました。このキャンプは平成28年度から実施しており、都合により中止とした年もありましたが今年で7回目の開催となりました。夏休みを利用して自然の中での体験活動をするとともに、他の学校の児童との交流などを目的としています。 1日目は秋田駒ヶ岳登山に挑戦し、山の植物などを観察しながら歩き、夜は体験学習館に戻ってキャンプファイヤーを実施し参加者の交流を深めました。2日目はイワナのつかみ取りなどを体験し、2日間を通じて自然の素晴らしさを感じてもらいました。参加した子どもたちにとっては夏休みの良い思い出になるとともに、初めて会う友達と協力しながら活動を行うなかで、仲間と協力する力やコミュニケーション能力の向上につながったことと思います。
まちづくり推進部 (増田地域局)	(3)マンガが結ぶ夏の体験学習「エンジョイ！マンガロード」 マンガを活かしたまちづくりを推進している宮城県石巻市や登米市との交流事業である「増田っ子塾 エンジョイ！マンガロード」が8月7日から8日の日程で開催されました。 この交流事業は、平成13年度に旧増田町と宮城県石巻市、旧中田町の3市町で「みちのくマンガロード連絡協議会」を設立したことをきっかけに、平成16年度から冬は当市でスキーなどの雪国体験交流、夏は石巻市や登米市などで交流を行っているというものです。 今回、増田小学校から参加した児童は4名で、両市のまんが関連施設の見学、三滝堂ふれあい公園での登米市の児童らとの溪流川遊び体験など、見識を広めるとともに夏の思い出をつくりました。

令和6年6月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
まちづくり推進部 (増田地域局)	(4)増田小学校の農業体験交流学习 子どもたちに食と農の大切さを学んでもらおうと、増田小学校5年生の児童32名が6月25日に稲の生育調査と田んぼの生物調査を行いました。 この事業は、増田高等学校や地元女性団体の協力により5月の田植えに引き続き実施されたもので、「サキホコレ」の身長(草丈)・顔色(葉色)・体格(分げつ)の診断や、様々な生物が田んぼに生息していることをみんなで観察し確認しました。 今後も稲刈り、食事会、販売を通じて農業への理解を深めていく予定としております。
まちづくり推進部 (平鹿地域局)	(5)第43回あやめまつり 第43回浅舞公園あやめまつりが、6月22日から6月30日の9日間にわたり開催されました。開会にあわせて開花となり、期間中には彩り豊かな花々が咲き揃い、来場者は園内をゆったりと散策していました。 今年は、JR東日本横手駅のご協力のもと、ミニ列車の乗車体験が実施されたほか、多くのイベントが行われ、約32,000人の来場者で賑わいました。 この他、まつり開催前には、地元の各団体や地域住民の方々による浅舞公園周辺道路のクリーンアップが実施され、環境美化を図るなど、地域との協働の取り組みも行われております。
まちづくり推進部 (雄物川地域局)	(6)第51回雄物川駅伝競走大会 6月30日、雄物川河川公園をメイン会場に、「第51回雄物川駅伝競走大会」を開催いたしました。地域、企業、仲間同士などで組まれた28チームと、横手明峰中学校2チームが参加し、5区間全長13.1kmのコースで襷をつなぎました。今年も地元雄物川の「大沢ランナーズ」が46分29秒でゴールし、4連覇を果たしました。

令和6年6月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
まちづくり推進部 (雄物川地域局)	(7)おもフェス2024 7月15日、雄物川中央公園において「おもフェス2024 Jamaican Music Festival」が開催されました。 地域の若者が実行委員となり開催するもので、地域を元気にすることを目的に今年で7回目となりました。 東北でも珍しいスカとレゲエに特化したイベントで、ゲスト8組、雄物川小学校合唱部、横手明峰中学校吹奏楽部、雄物川高校吹奏楽部が出演し、大曲高校書道部のパフォーマンスや高校生ボランティアの協力もあり、約2,400人の来場者で賑わいました。
まちづくり推進部 (雄物川地域局)	(8)第26回ははは祭 平成8年8月8日に、は・は・はの語呂合わせから始まり、笑顔の町雄物川の夏の風物詩として26回目を迎えた「ははは祭」が、今年も8月8日、雄物川庁舎敷地内で開催されました。 当日の会場では、アーティストによるライブやよさこいソーラン、雄物川高校吹奏楽部の演奏に加え、ストリートダンスやフリースロー大会などが祭りを盛り上げ、約5,000人の人出で賑わいました。
まちづくり推進部 (大森地域局)	(9)第41回関東地区大森町ふるさと会 7月28日、上野精養軒にて「第41回関東地区大森町ふるさと会総会並びに懇親会」が開催され、会員や来賓、関係者約80人が参加し久しぶりの旧交を温めました。 懇親会のアトラクションでは歌謡ショーやステージイベントで盛り上がったほか、会場内には地酒「大納川」や地元の野菜、加工品の販売ブースを設け、ふるさとの特産品を買い求める会員で大いに賑わいました。 最後に「故郷」の大合唱で締めくくり、次回の再会を誓い合いました。

令和6年6月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
まちづくり推進部 (十文字地域局)	(10)第39回首都圏十文字会総会 6月29日、浅草ビューホテルを会場に、「第39回首都圏十文字会総会」が153名(会員115名、来賓38名)の参加のもと、盛大に開催されました。 総会では、10年の長きにわたり務められた会長の交代があり、これまでのご尽力に各方面から感謝の気持ちが伝えられました。会場内には道の駅十文字の特設販売ブースが設けられ、ふるさとの特産品を買い求める会員で大いに賑わい、持参した品がすべて完売となりました。懇親会では、ミニ歌謡ショー、インタビューコーナー、大抽選会などが催され、笑顔と横手弁があふれる和やかな雰囲気になっていました。 来年は創立40周年の節目を迎えます。記念に残る会となるよう準備を進めている役員の皆様に寄り添い、十文字会の成功に微力ながら貢献したいと考えております。
まちづくり推進部 (山内地域局)	(11)大松川ダム公園植栽イベント 6月22日、大松川ダム公園において昨年に引き続き、「大松川ダム公園植栽イベント」を開催しました。 大松川ダム公園において、山内地域のにぎわい創出を目的に平成14年から「さんない芝桜まつり」を開催してきました。しかし、芝桜の生育が思わしくないことや担い手が不足していることから、まつりを中止し、観光資源の再構築と地域住民の交流を目的に令和4年度から「植栽イベント」を実施しているものです。 今年度のイベント当日は、49名の地域住民らが参加し、斜面や雪に強いとされる植物「ヒペリカム」1,000株と、「クサキョウチクトウ」20株をそれぞれ植栽しました。 芝桜まつり実行委員会での活動は今年度で終了となりますが、今後も官民一体となった地域観光資源活用の取り組みを進めてまいります。

令和6年6月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
まちづくり推進部 (山内地域局)	(12)夏のクリーンアップ(夏季道路一斉清掃) 環境美化に対する意識の高揚を図るため、8月4日早朝、地域内の国道や県道、幹線道路沿線及び河川において、地域住民総出による「夏のクリーンアップ」を実施しました。 当日は、857人の市民の皆様に参加いただき、燃やすごみ120kg、燃やさないごみ20kgが集められました。 今後も、地域の環境をより良くするための活動を継続してまいります。
まちづくり推進部 (大雄地域局)	(13)2024大雄サマーフェスティバル 7月27日、今年で37回目となる「大雄サマーフェスティバル」を、楽天イーグルススタジアム大雄駐車場内を会場に開催いたしました。 開催日当日は、市の災害対策本部が設置されていましたが、地域の方々の安全確保を図り、ご来場のお客様の安全に最大限に配慮することを確認したうえで、開催を決定しました。 このイベントは、大雄地域内の団体からなる実行委員会を組織し、企画・運営しているものです。当日は「たいゆう保育園児の踊りと太鼓披露」を皮切りに、地元大雄産のスイカの試食や重さ当てクイズ、子供たちに人気の「カブトムシ木登りレース」などを実施したほか、ビアガーデンや屋台の出店で賑わいました。 ステージでは湯沢市出身の「神崎りく」と元おニャン子クラブの一員で現在は演歌歌手として活動中の「城之内早苗」さんが歌声を披露し、来場者を魅了しました。 フィナーレは、会場のそばから迫力満点の花火を打ち上げ、フェスティバルを締めくくりました。

令和6年6月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
農林部 (食農推進課)	(14)食農フェスタ2024 8月2日、横手市園芸振興拠点センターのPRと、市民の皆様に横手産野菜の魅力を発信することを目的に、「食農フェスタ2024」を開催しました。 秋田県住みます芸人のきり亭(てい)たん方(ぼう)さんによる野菜にちなんだ落語やトークのほか、センターや研修生OB、農近ゼミ会員が生産した農産物即売会、センター内を巡りながら園芸に関するクイズに答えるセンタークエスト、直進アシスト機能付きトラクターの試乗やネギの皮むき体験、横手産野菜を使った料理の試食などを行いました。 当日は、約300人の市民の皆様にご来場いただき、園芸振興拠点センターや横手の食と農について理解を深めていただきました。
商工観光部 (観光おもてなし課)	(15)第21回よこての全国線香花火大会 7月20日、21回目となる「よこての全国線香花火大会」が実行委員会主催により開催されました。横手川蛇の崎川原を会場に、国産花火を楽しみながら、故郷を思う気持ちを育み、日本の貴重な文化を体験してもらおうという催しです。 開催直前に雨が続いた影響で会場のコンディションは良くありませんでしたが、浴衣姿の小中高生や親子連れを中心に、約7,800人の方々が会場を訪れ、線香花火の持続時間を競う大会や、大会提供の迫力あるおもちゃ花火の打ち上げなど、夏の夜の賑わいを体感しました。 当日は、高校生をはじめとした150人を超えるボランティアがスタッフとともに汗を流してくれました。また、茨城県那珂市からは観光PRブースを出展いただき、イベントの盛り上げにご協力をいただきました。

令和6年6月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
商工観光部 (観光おもてなし課)	(16)横手の送り盆まつり 横手地域の夏を彩る伝統行事「送り盆まつり」が、8月6日の「ねむり流し」を皮切りに、15日には市民盆おどりと屋形舟鑑賞会、16日には屋形舟繰り出しが行われました。 ねむり流しには21団体が参加し、子どもたちの願いを書いた短冊を飾った小舟が蛇の崎河原に繰り出しました。市民盆おどり大会では、市役所本庁舎前を舞台に18団体の踊り手が浴衣姿で笛や太鼓のお囃子にあわせ、屋形舟の周りを優雅に踊りました。屋形舟繰り出しでは、13町内の舟が蛇の崎橋の上で威勢よくぶつかり合い、横手城をバックに打ち上げられた花火とともに、多くの来場者を魅了しました。
教育総務部 (文化財保護課)	(17)青山学院大学文学部史学科考古学コース 考古学実習 青山学院大学文学部史学科考古学コースの学生及び大学院生が、雄物川地域の造山十足馬場遺跡において単位取得のための考古学実習を行いました。 実習は2期にわたって行われ、第1期は8月4日から10日まで教員1名と実習生24名が発掘調査実習を行いました。酷暑の中での実習でしたが、学生たちは技術の習得に励み、地域の歴史の一端を明らかにしてくれました。 なお、第2期は9月8日から11日まで教員2名と実習生10名が磁気探査実習を行う予定です。
教育総務部 (生涯学習課)	(18)令和6年度横手市二十歳のつどい及び24歳のつどい 8月15日、横手市民会館において横手市二十歳のつどいを開催しました。 対象者は、平成15年4月2日から平成16年4月1日までに生まれた市内在住者及び平成30年度市内中学校卒業生の775名で、そのうち554名が出席しました。 また、8月11日には、中止となった令和2年度「成人式」の代替行事を、開催を希望する対象者からの声を受け実行委員会形式で開催しました。平成26年度市内中学校卒業生など900名が対象で、213名が出席しました。 どちらの参加者も、社会の一員としての決意を新たに、懐かしい仲間と笑顔で旧交を温めていました。

令和6年6月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
教育総務部 (スポーツ振興課)	(19)第17回横手わか杉カップ 7月13日から15日までの3日間、今年で17回目となる全国ブロック選抜高校男子バレーボール大会「横手わか杉カップ」が雄物川体育館で開催されました。北は青森県、南は神奈川県から全国の高校男子バレーボール界を牽引する強豪校7校が参加し、ハイレベルな熱い戦いを繰り広げました。 雄物川高校は、第2位という結果となり、3日間で訪れた多くの市民の皆様やバレーボールファンに、迫力あるプレーで会場を盛り上げ、多くの感動を与えてくれました。
教育総務部 (スポーツ振興課)	(20)大学のスポーツ合宿 夏季の横手市を会場として、複数の大学のスポーツ合宿が開催されました。 8月1日から8月5日までは、大森体育館を会場に玉川大学(東京都)女子バスケットボール部29名による夏合宿が開催されました。 8月1日から8月11日までは、グリーンスタジアムよこてを会場に神奈川大学硬式野球部40名、8月11日から22日までは、同会場で日本体育大学野球部約100名による合宿が開催されました。各合宿期間中は、オープン戦や練習の様子を公開したほか、市内の中学生らを対象にスポーツクリニックを開催していただき、当市の競技力向上につなげることが出来ました。